

# ポートタワー

## 「恋人の聖地」に

認定受け改装

千葉市中央区の千葉ポートタワーが、カップルで訪れた観光スポットの「恋人の聖地」に認定された。

これに伴い、今年度から民間運営となつていてる同タワーは大幅に改装され、展望

フロアは「聖地」にふさわしくロマンチックに改名。

開業25周年を迎えた千葉みどりエリアのシンボルは、12日を改装オープン日として、大きく生まれ変わる。

同タワーは4月、プロポーズの場にふさわしい観光

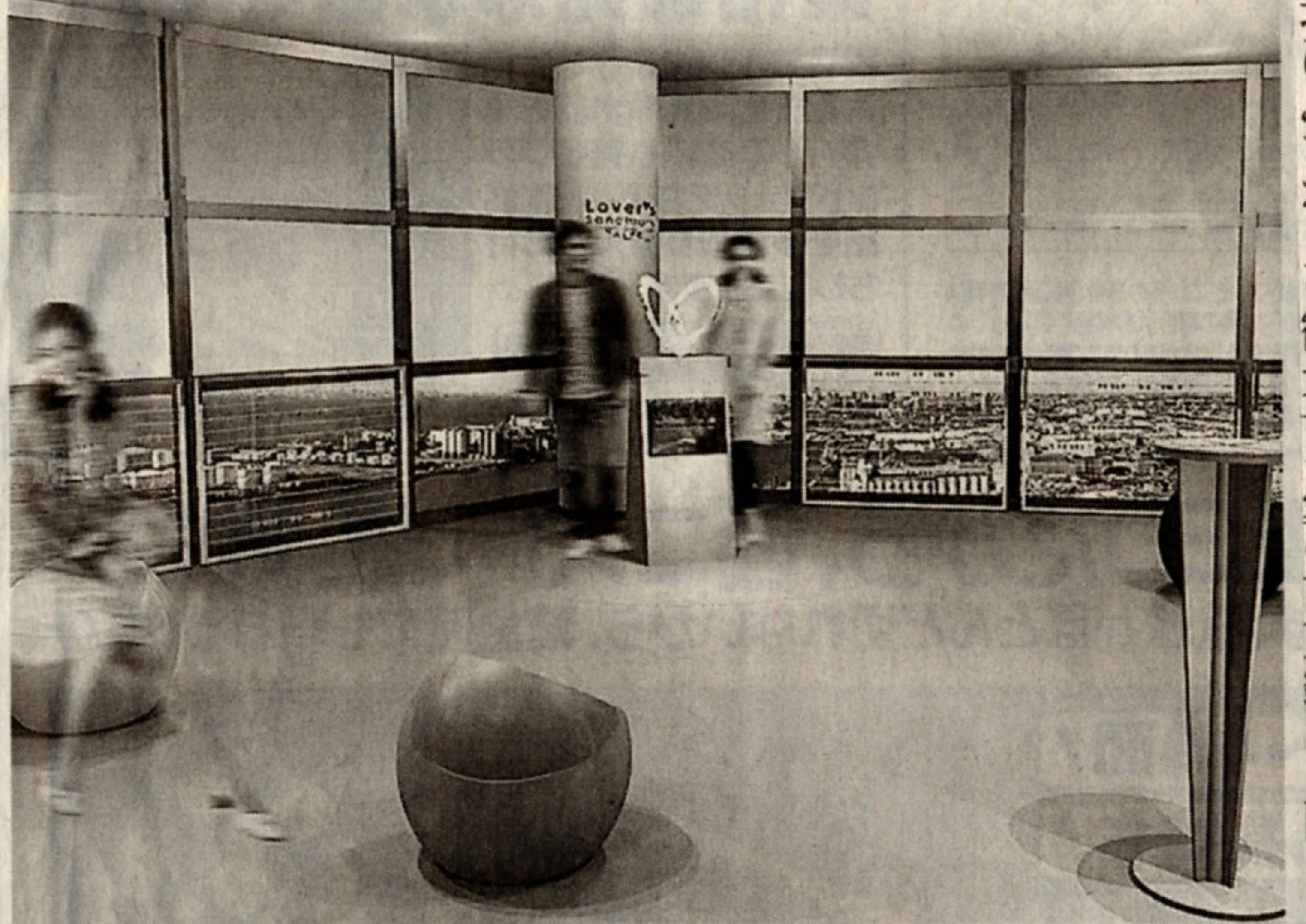
施設としてNPO法人「地域活性化支援センター」が選ぶ「恋人の聖地」に、京成バラ園（八千代市）や中の島大橋（木更津市）などに次いで県内4番目に認定された。

市観光協会から運営を引き継いだ運営会社の「三越環境ビル管理」（東京）は、地上105mの展望フロアを「愛のプロムナード」と命名。永遠の愛を誓い合う「天空縁結び神社」を設け、「愛の南京錠」も配した。

3階レストランでも、県産食材を使ったランチプレートやカレーなど、メニューを一新した。

同タワーは1986年に開業。全面ガラス張りの独特な形状が人気を集め、周辺の人工海浜やポートパークも集客を後押して、当初は年間50～60万人が訪れた。しかし、昨年度は約16万8000人に落ち込んで

おり、東日本大震災では震装置の一部が損傷し、補修を終えて通常営業を再開したのは今月4日だった。営業時間は午前9時～午後9時。改装オープンを記念し、12日午前11時からは、館内に常設ギャラリーを設けた全盲のイラストレーター、エムナマエさんらを招いてトークショーも開催する。



改装オープンする千葉ポートタワー展望室のイメージ